

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

# 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2021年7月①号

## 御菌橋の拡幅工事が完成 開通しました

平成27年～令和3年6月までの長期間の工事が終了し、6月29日0時～開通しました。橋の歩道幅は4.5m、4車線に。私が市会議員に立候補する前から地域の皆さんの「安全に渡れる橋を求め、拡幅を」の運動が広がり、署名活動や議会でも取り上げ、23年越しの取組となりましたが、完成は感慨無量です。上賀茂神社前のロータリーも新しくなりました。引き続き、ご意見やご要望などお寄せください。



パンフレットの写真。交通安全の状況や横断歩道も増設されたので、人の動きも変わります。



完成式典が6月28日に開催され、参加しました。

子どもたちからのメッセージや上賀茂神社の宮司さんの祝辞では、御菌橋の歴史のお話もあり、勉強になりました。

写真は、武田北区長さんと一緒に記念に撮りました。

## 北区で「食品・日用品の提供と生活相談会」

コロナウイルスの影響により、市民の暮らしは大変な状況が続いています。国の支援策は少なすぎます。北区の民医連の病院や労働団体、京建労、新日本婦人の会、民商、共産党などの団体で実行員会を立ち上げ、準備して実施。募金もたくさん寄せられ、200の方が来られ、ボランティア80人で、相談活動も行いました。シングルマザーの方や学生さん



など、収入が減って困っている声が寄せられ、「助かります」と好評でした。

## つばやき：新型コロナウイルスの変異株の驚異・・・

武漢（中国）から始まった新型コロナウイルスは、イギリス株に変わり、今、インドからのデルタ株が広がりつつあります。しかし、留まることはないようです。今、ベータ株（南アフリカ）、ガンマ株（ブラジル型）の対策を日本は上げているようですが、ラムダ株（南米）も、すでに南米で猛威を振るっています。今、接種を行っているワクチンもそれぞれの変異株にどの程度の効果があるかもわかりません。

対策は変異株を日本に入れ込まないことが、最優先だと思います。したがって、世界的な規模で変異株ウイルスが広がる中、世界的規模の祭典「オリンピック・パラリンピック」を開催するのは、正気の沙汰ではないと思います。

今からでも中止の決断をすべきです。日本政府の責任が問われます。IOCが日本国民の命を守ってくれるわけではありません。

## 医療現場の大変さ

## アンテナ

新型コロナウイルスワクチンは国から各地方自治体に供給されます。しかし、そのワクチン量が当初より不安定ではつきりせず、自治体のワクチン担当者、ワクチン接種の計画を立てるのにも、とても苦労されていました。

京都市は、まずは、かかりつけ医で接種する方針を示しましたが、かかりつけの医療機関がワクチン接種をしていくわけではありません。例えば、大病院や総合病院などでも、ワクチン接種を実施していない病院が多くあります。したがって、ワクチン接種を実施している医療機関をさがし、予約を労したり、集団接種会場の申し込みに苦政も四苦八苦の対応です。

でも一番苦労されているのは医療機関です。ワクチン外来の体制を取り、予約を取る作業なども医療機関が独自にしなくてはなりません。

医療機関の窓口や診療室でも、患者さんから、信頼してかかっているのに、ワクチンの予約がなぜ取れないのか」と苦情の対応に苦労されたお話を伺いました。しかも、苦労して、体制も取って、予約も受けたのに、最近になって、国からのワクチン供給が、余分には送れないということになって、大混乱になっています。

国のワクチン供給のあり方が問われます。

